



(福) 尚徳福社会
保育園神田ベアーズ

肌寒いという日もあれば、暑いと感じる日もあり、長袖か?半袖?上着は?など、迷う5月でありました。すでに季節は「梅雨」を迎えようとしており、移り変わりの早さを感じています。

玄関横にある小さな「庭」には、あっという間に枝が伸び、葉っぱが大きくなり、つぼみがいくつもついている「アジサイ」が育っています。昨年は、保育園職員も、何色のアジサイが植わっているのか??を知りませんでした。開園が一昨年の10月であったため、植えた職人さんしか知らないという現象でした。そんなことを思い出しながら、アジサイの生長を眺め、1年の歴史を振り返って、子どもたちも同じように成長していると思うと、大袈裟ですが感慨深い胸のうちです。

さて、緊急事態宣言により、懇談会をいったん中止とさせていただきました。1回目の懇談会で伝えるべきこともお伝え出来ないという事で、クラスとして「発達の特徴」「年間どのようなことを目標に取り組んでいくのか」などを、書面でお渡しすることにいたしました。そしてクラスのお友だちのことも、たくさん知ってもらおうと、子ども紹介を保護者の皆様に手伝っていただく事にいたしました。すでに担任から用紙をお渡ししていると思いますが、ご協力のほどお願いいたします。我が子自慢を惜しみなくご記入くださいね。

そして、子どもたちの様子を少しでも知って頂こうと思い、今年は「号外(楽しいつづきや可愛いしぐさ、その他等)」を出すことにしております。こちらもおたのしみにしていただければと思います。



日	曜	内容	16	水	全園児健診
1	火		17	木	
2	水		18	金	
3	木		19	土	
4	金		20	日	
5	土		21	月	
6	日		22	火	
7	月		23	水	
8	火		24	木	
9	水		25	金	
10	木		26	土	
11	金		27	日	
12	土		28	月	
13	日		29	火	
14	月		30	水	
15	火				

事務より
 利用料のお手続きにご協力いただきありがとうございます。
 事務室に職員がおらず、手続きできないというお声もあと伺っております。
 ペイペイやクレジットカード、エアペイなどに変更された方でも、口座の引き落としに変更できますので、変更がありましたら、お声がけください。



「新型コロナウイルス感染予防対策につきまして」

2020年、4月7日に7都道府県で緊急事態宣言、4月16日には全国に拡大、給付金が、なんだかんだと話題になり、5月14日に39県で緊急事態宣言が解除され、その後全国高校野球は戦後初の中止になった後、5月25日に全国で緊急事態宣言が解除されました。解除されたときの感染者数は、昨年の5月後半は二けたまで減っていた状態でした。

はじめの頃を振り返りますと、「自粛せよ」「テレワークをはじめよ」「学校を休校にせよ」「電車は間隔を取って座れ」「マスクをせよ」「消毒薬をせよ」「2Mは離れよ」一気に衛生用品はうなぎのぼりに高値が付いたことが思い出されます。

保育園も保護者の方の自粛協力もあり、数人ずつ保育士も必要人数に合わせての出勤者となりました。毎日毎日、保育園は大丈夫！と思いながら感染予防に努めていたことを思い出します。相変わらず継続真っ最中です。

さて、今の現状はどうでしょう。まだまだ3桁の状態です。数字に惑わされてはいけないという事はわかっていますが、どうしても指標となってしまう現状です。

この先、緊急事態宣言が解除されても、保育園は変わらず、その時と同じように感染症対策に努め、コロナを「入れない」「かからない」気持ちで取り組んでいきたいと思えます。

行事に関しても、千代田区と相談しながらできる範囲で工夫をして行いたいなどの胸の内です。

より一層の、皆さまの協力をお願いいたします。



もう一つ思い出したことがあります。昨年度の保育園、緊急事態宣言が解除された後、全員が登園し始めてから、7月頃から9月頃くらいまで、噛みつき、ひっかきの多い時期がありました。

緊急事態宣言が関係しているのかどうかは初めての事ですので不明です。

新年度スタートから2か月、今、友達関係が広がり、新しい玩具での遊びや、やりたいこと等が広がり、いろいろな事に興味をもち始めています。そんな中で喧嘩や、物の取り合いなどで怪我してしまったりする姿が出始めています。おもちゃの数や年齢にあったものか？など園の方も環境を見直すなど楽しく遊べるような環境作りに努めています。

それでも、怪我などにつながってしまった時には、本当に申し訳なく思います。

その都度、保育園の責任の上で謝罪をしたり、怪我や気持ちのケアをしたりしています。

しかしだんだんと、子どもたちも成長し、保育園が言わなくても伝わってしまう事もしばしばあります。そのような場合は大変申し訳ありません。「同じ保育園に通う。同じ可愛い子どもたちが一緒に育ちあう仲間として、危険な事や嬉しくない言葉などを、見たり聞いたりしたときには是非お声がけをしていただきたいなと思っています。もちろん自分たちで考え解決できれば、それが一番です。

また、大きくなると言葉により「心が怪我」をするという事もあります。沢山の言葉を覚えるのは、よい事です。それをどのように使うかですね。友達の関わり方、物の使い方、言葉のかけ方、まずは私たち、大人が手本になり言葉を選んで使う事で学び、今度は子どもたちが、言葉を使いながら意味を選んだり変化させたりして使っていきます。言葉が変化し過ぎでついていられない事もありますが・・・。大人が手本となり知らせていくことが出来たら素敵ですね。(入ってくる情報は止められません)

なかなか懇談会等で顔を合わせることがない中です。大人が声をかけあうことで子どもたちは、親密感や信頼感を持つものだと思います。

「良い事も」「そうでない事も」同じ仲間として、関わる大人として声を掛け合い、子どもたちの成長につなげていきたいと考えております。もちろん保育園では、怪我をしないよう体を張って怪我防止に努めます。子どもたちは、誕生日×〇年(ざっくりですが)の人生経験です。可能性が満ち溢れている発達途上の子どもたちです。家庭で、保育園で、地域で育つ子どもたちです。「とも育て」へのご協力[★]をいただき、お力添えをいただけたら幸いです。皆様の、ご協力をお願いいたします。

